

第1部 話題提供者の講演資料

< 永田 泰浩 氏 講演概要 >

当日は、朝から仕事の関係で、一般国道 274 号から 10km も離れていない南幌町や長沼町に出張していた。午後から風雪が強まり、近隣の道道でも、一般車両が吹きだまりに突っ込んだりするケースが増え、私たちも車両を押ししたり、掘り出したりするを手伝っていた。夕方近くになると、風がさらに強くなり、吹きだまりもかなり成長。一般車両だけでなくトラックなどの大型車両も立ち往生するような状況となり、さすがに私たちも帰社することを決めた。

南幌町のコンビニエンスストアで休憩し、出発したのが 17 時ごろ。すでに暗くなっていた。いつも利用しているルートどおり、高速道路で札幌市内の会社へ戻ることを決めた私たちは、南幌町から一般国道 337 号を北に向かった。南幌町と江別東 IC の中間ぐらいの地点で、トラック 3 台ぐらいが吹きだまりにはまって動けなくなっていた。安否を聞きにいったところ、トラックドライバーから、「道路を管理している役所に連絡してもらえないか？」と依頼を受ける。トラックドライバーでも、道路を管理している役所の電話番号を知らないくらいなので、私たちももちろん連絡先がわからない。会社に電話をして調べてもらい、国道を管理していると思われる役所（札幌）に電話をした。トラックが立ち往生しており、車両がほとんど通行できない状況になっていることが伝わる。電話の担当者からは、「場所はどこですか？」と聞かれたが、視界不良で目印もなく非常に困る。トラックドライバーには役所には連絡したことを伝え、私たちは南幌に引き返した。

南幌町のコンビニエンスストアで休憩し、出発したのが 18 時ごろ。南側の国道に抜ければ札幌に帰れる（一般国道 274 号みたいな大きな国道は絶対大丈夫！通行止めになるはずがない！まずは国道へ出よう！）と考えた私たちは、一般国道 337 号を南に向かい、一般国道 274 号を目指した（この時点では一般国道 274 号の状況は全く知らなかった）。途中ラジオで必死に情報を得ようと、あちこちの局にチューニングするが、能天気な番組ばかりで、一向に道路情報は手に入れない（怒）。吹雪はどんどんひどくなっており、ほとんど前が見えない。道道との交差点を一般国道 337 号に左折してすぐのところ、急に車が進まなくなった。前方にはパトカーのランプが見えた。反対車線を来る車がないところを見ると、どうやら前方は通行不能な状況か・・・。

10 分ぐらい立ち往生したものの、開通しそうにない。と、一台のやんちゃな車両が、待たれなくなったようで、反対車線を爆走していき、吹きだまりに突っ込んで動けなくなる。が、誰も助けない・・・（自分勝手な無謀運転はドライバー間の助け合いの精神に反する）。

私たちはあきらめて U ターンをして、また南幌側に戻る。この間もラジオで必死に情報を得ようとするが、一向に道路情報は手に入れない。道道と一般国道 337 号の交差点で、道道は南幌側からも、札幌側からも多くの車が走っていることを確認して、思い切って道道を札幌側に進む。結果として、これが正解で札幌に到着できた。

一般国道274号 長沼町 暴風雪災害写真

平成20年11月27日
雪水学会公開シンポジウム
(千歳道路事務所)





< 大塚 貴久 氏 講演資料 >

消防活動を振りかえって



南空知消防組合 長沼支署
救急係長 大塚 貴久

はじめに

- ・空知支庁の南部に位置し、南空知消防組合を栗山町、由仁町、**長沼町**、南幌町の4町で構成している。
- ・札幌市へは約50分(40km)
- ・管内人口 43,000人(長沼町12,300人)
- ・救急隊数 4隊(高規格救急車3台、2B車2台)
- ・救急件数 1,480件(長沼413件) H19年
- ・除雪車数 長沼町5台(無線付) 業者15台

道央地区・長沼町地図



電話受付時系列(2月23日 土曜日)

時間	受付数	覚知別	種別	内容
9時~10時	1件	緊通	救急	長沼救急
10時~12時	0件			
12時~13時	2件	119・携帯	救急	長沼、千歳救急
13時~18時	0件			
18時~19時	1件	119	救急	長沼救急
19時~20時	3件	119・携帯・加入	救急・問い合わせ	長沼救急、道路情報2
20時~21時	3件	携帯・加入	問い合わせ	道路情報3件
21時~22時	3件	携帯・加入	救急・問い合わせ	恵庭救急、道路情報2件
22時~23時	1件	携帯	問い合わせ	道路情報
23時~0時	0件			

電話受付時系列(2月24日 日曜日)

時間	受付数	覚知別	種別	内容
0時~1時	1件	携帯	問い合わせ	道路情報
1時~2時	2件	携帯	問い合わせ	道路情報2件
2時~3時	0件			
3時~4時	1件	携帯	救急	長沼救急
4時~5時	2件	携帯	問い合わせ	道路情報
5時~6時	3件	携帯・加入	救急・問い合わせ	恵庭救急、道路情報
6時~7時	0件			
7時~8時	3件	携帯・加入	問い合わせ	道路情報
8時~9時	3件	携帯・加入	救急・問い合わせ	恵庭救急、道路情報
9時~10時	2件	携帯・加入	問い合わせ・情報	R274通行止め、道路情報
10時~11時	0件			
11時~12時	2件	携帯	救急・問い合わせ	長沼救急、道路情報

電話受付時系列(2月24日 日曜日)

時間	受付数	覚知別	種別	内容
12時～13時	0件			
13時～14時	1件	携帯	救急	長沼救急
14時～15時	0件			
15時～16時	1件	加入	問い合わせ	マスコミ
16時～17時	0件			
17時～18時	2件	加入	救急・情報	長沼救急 R274,R337交通規制解除

- * 2月23日(土曜日)
道路情報・除雪問い合わせ 8件 救急要請6件 合計14件
- * 2月24日(日曜日)
道路情報・除雪問い合わせ17件 救急要請6件 合計23件

立ち往生車内からの通報内容(主だったもの)

- 2月23日 (他重複多数)
- ・道々札幌夕張線で交通渋滞、何とかならないか?
 - ・道々恵庭栗山線(恵庭境界付近)で車が埋まって走行出来ない。
 - ・車内で具合が悪くなったらどうしたら良い?
 - ・R274号線上で車が動かない、1歳と3歳の子供が居るので不安だ。

- 2月24日 (他重複多数)
- ・道々馬追原野北信濃線、長都橋より1km長沼側で渋滞
 - ・道々恵庭栗山線で車が埋まっている何とかしてほしい。
 - ・渋滞を抜け、市街地までできたが、心臓に持病があり悪くならないか不安だ自宅まで送ってほしい。
 - ・R274号で車が埋まった。子供が乗っているので助けてほしい。
(1歳の子供のミルクが少なく不安だ)
 - ・除雪車が来ない又は除雪作業はどうなっている。(多数)
 - ・具合が悪いが、時間が掛かるのであれば我慢できる。

救急・消防活動

番号	日時	覚知時間	覚知別	救急隊	消防車	除雪車	内容
1	23日	9:49	緊通	1隊	—	—	一般住宅 急病
2	23日	12:59	119	1隊	—	—	一般住宅 急病
3	23日	18:54	119	1隊	—	—	屋外 急病(徒歩中)
4	23日	19:33	119	1隊	—	—	屋外 急病(除雪中)
5	24日	3:35	携119	1隊	—	1台	一般住宅 加害(警察)
6	24日	6:30	—	—	3隊	—	被害・路線調査開始
7	24日	11:23	携119	1隊	3隊	1台	R274 車内急病
8	24日	13:37	携119	1隊	1隊	—	道々札幌線 車内急病
9	24日	17:00	加入	1隊	—	1台	一般住宅 怪我

過去の救急事例

- 発生日時 平成16年2月23日
 発生場所 長沼町東10線南6号(R274道の駅付近)
 事故概要 吹雪で停車中の乗用車に大型トラックが追突。車外に出て話しをしていたところに後続のトラックが追突し乗用車の運転手が挟まれトラックの運転手が跳ね飛ばされた事故。
 活動内容 11時25分 消防覚知
 11時45分 現場到着(通常約10分で到着 途中事故車・立ち往生車多数)
 ・重傷と思われる怪我人2名のため南幌救急隊増援要請
 ・救急搬送のため、長沼町に除雪車要請
 12時11分 搬送開始 1名(除雪車と合流予定)
 13時52分 R274路上で南幌救急隊、立ち往生の為、除雪車要請
 ・南幌救急隊到着に時間が掛かると判断し現場に引き返し更に1名収容し搬送を開始
 ・南幌救急隊他の事故現場に向う
 ・途中、事故車、立ち往生車を移動しながら搬送する
 ・除雪車とは合流できず
 15時10分 恵庭市内の医療機関に到着(通常約20分で到着)

今回の救急事例

- 発生日時 平成20年2月24日(日曜日)
 発生場所 長沼町東6線南6号(R274路上)
 事故概要 立ち往生車両内より脱車で動けないとの救急要請
 活動内容 11時23分 消防覚知(消防隊、除雪車出動)
 12時12分 現場到着(通常約7分で到着)
 ・R274上の要請車両まで近づけず約100mで停止
 ・要請者は23日、18時30分頃から車内
 12時37分 搬送開始 1名(除雪車先導)
 ・立ち往生車、多数のため遠回りの路線で搬送
 ・出動消防隊は除雪した路線に他の車両が進入しないよう交通規制
 13時00分 長沼町医療機関到着(通常約5分で到着)
 * 病院に搬送された人は幸い軽症だった。

R274号線写真 (長沼町都市整備課撮影)



活動まとめ

- ・通報対応
 - (1) 119番通報の増加に伴い消防業務維持が困難になることが予想されたため、緊急・非緊急を振り分けた。
 - (2) 通報内容で現在の状態が続けば生命に関わると思われる問い合わせには通報者の番号を聴取し情報の確認、連絡を取る対応を行った。
 - (3) 道路管理者、除雪対応機関との道路情報、除雪状況などの確認に苦慮する。
- ・救急活動
 - (1) 救急要請には除雪車先導で出場する体制をとった。
 - (2) 受信時に除雪車先導で出場するため、到着まで時間が掛かるむねの同意を得る。
 - (3) 除雪車の先導で3件、出場したが辛い症状が悪化をきたした人はいなかった。
- ・消防活動
 - (1) 出動時の道路・水利・除雪等の調査。
 - (2) 救急出場時の支援活動。(交通規制等)

今後の対応について

* 今回のような雪害に対応するには関係機関との連携を深め相互の活動状況や現場情報など吹雪に巻き込まれた人たちの支援に必要な情報の共有が行える連携システムを構築・機能させて行く必要があると思われる。



御静聴ありがとうございました。

